「粉体技術」原稿執筆要領

一般社団法人日本粉体工業技術協会
「粉体技術」編集委員会

1. はじめに

執筆にあたっては、別途定める「粉体技術」編集基本方針に沿って、幅広い読者に分かりやすいように平易な表現で執筆をお願いします。

■ 重要ポイント ■

1. 語調は**「である調」**でお願いします。
2. 年、年度は**西暦**でお願いします。
3. 単位は**国際単位系（SI）**で、数字と単位の間には**半角スペース**を入れてください。
4. 本文および図表中のテキスト・キャプションは、必ず**和文**で**フォントは** MS 明朝または MS P 明朝を使用してください。
5. 図表および引用文献は執筆者の責任において**発行所（出版元）ならびに現著者の承諾**を得てください。
   ※図表中の文字を明朝体に置換、和文に置き換える場合にも必要です。
6. Web 検索などでのヒット率向上のため、**3〜5個程度のキーワードをご提供ください**。
7. 動画や Web サイトを引用される場合は **QR コードと URL のご提供**をお願いします。その際には、**できるだけ長期間維持されるコンテンツのご提供**をお願いします。

2. 体裁・文体・文章構成

2-1　ページレイアウト

A 4 判 1 頁2,024文字（２段組×46行×22文字）レイアウトしますので、頁数の目安としてください。

2-2　文体など

- **「である調」**で、常用漢字と現代かな遣いにより執筆をお願いします。
- **年、年度は西暦**で統一してください（必要な場合は和暦も可）。
- 固有名詞（人名、書名など）は和文でなくてもかまいませんが、それ以外は和文でお願いします。
- 句読点は**「、」および「。」で統一**してください。
- 下記文字はすべて“ひらがな”を使用してください。
  ように（様に）、など（等）、こと（事）、および（及び）、または（又は）、できる（出来る）、ある（有る）、いただく（頂く）、いう（言う）、ため（為）
  ※その他の用語も編集方針により、予告なしで置換することをご了承ください。

2-3　文章構成

- 「はじめに」で始まり、最後は「おわりに」でしめてください。
- 本文の区分けは

1. 大見出し
1-1　中見出し
1-1-1　小見出し
1-1-2　小見出し
1-1-2-1　小見出し
⋮　　と表記してください。

3. 記号、数式などの書き方

3-1　単位系

単位は国際単位系（SI）で統一してください。
例：kgf/cm^2、mmH_2O→Pa、kgf→N

3-2　記号、数値

- 量記号、単位記号および化学記号は**JIS Z 8202に、数学記号はJIS Z 8201にできるだけ準拠してください**。
- イタリック体、添字などの表記は正確にお願いします。

【要点】

- **量記号は斜体**
  例：m（質量）、ρ（密度）、p（圧力）、τ（せん断応力）、x（粒子径）
- **無次元パラメータおよび基本常数は斜体**
  例：Re、Pe、Fr、Kn、k（ボルツマン定数）、R（ガス定数）
- **単位記号は直立体**
  例：Pa、N/(m^2・s)、kg/m^3、rad・s^{-1}
- **記号に続く単位はカッコ（　）に入れ、数値に続く単位はカッコに入れないでください。**
  例：τ（N・m^{-2}）、1.013×10^2 kPa
- **化学記号は直立体**
  例：CO_2、C_2H_4、$SiCl_4$
- **数値は直立体**
  例：1、3.1416、4×10^3
- **数学記号で定数、演算記号は原則として直立体、変数記号は斜体**
  例：e、exp、lim、log、du/dt の d は直立体、u、t は斜体
- **ベクトルは斜体＋太字**
  例：$\boldsymbol{v}$、$\boldsymbol{\sigma}$、$\boldsymbol{A}$
- **添え字は上付き、下付き文字ともに直立体（ただし変数を表す添え字はイタリック）**
  例：E_k（運動エネルギー）、x_i（i 番目の変数 x）、p_j（j 番目の分圧）

4. 図表類

【要点】

（1）必ずモノクロ印刷になることを前提として作成してください。
- **必ず白黒に変換して出稿**をお願いします。

• **パワーポイントデータは再編集**して出稿してください。
• ホームページからの画像コピーは避けてください。

（2）印刷サイズは二段分使用の場合は横170 mm 以下、一段分使用の場合は81 mm 以下となります。

（3）Wordなどに貼り付ける前の表計算データや高解像度の図表データがある場合は別途送信してください。

（4）キャプションは必ず付けてください。

例：**図-1**　ロスイン供給テスト一覧　　**写真-1**　スクリュー全形

（5）テキスト・キャプションは和文でお願いします。

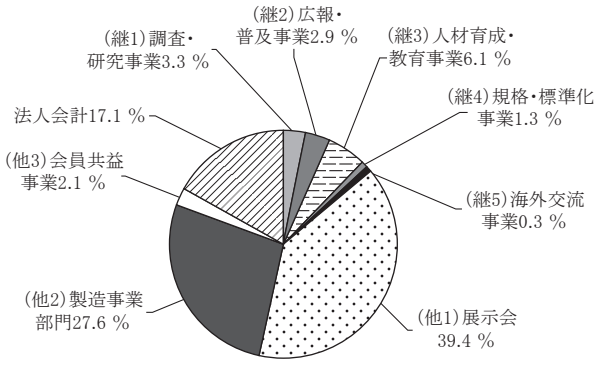
（6）文字のフォントは、必ず明朝体（MS 明朝または MS P 明朝）としてください。

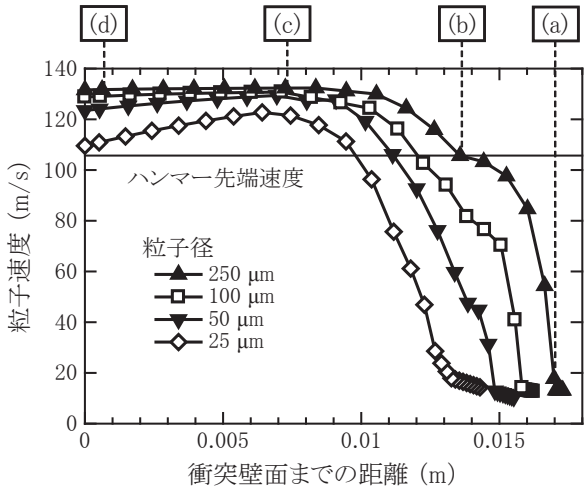
（7）**本文中に必ず引用してください。**

4-1　図・グラフ

• エフェクト（太字やシャドウ効果）は解除してください。
• 線は、モノクロの線種（実線、破線など）で区別してください。
• 線の太さは0. 3 pt 以上としてください。
• 凡例などは、色ではなく模様または網濃度に差をつけて区別してください。
• マーカーは、×や－は使用しないでください。
原則として、○●△▲□■◇◆で作成してください。
※グラフエリアの枠線をつけて作成していただいた場合、枠線は印刷されませんのでご了承ください。
• 図中に、図のタイトル（キャプションとなる文語）や説明文の書き込みをしないでください。
• 粒子径分布は、頻度分布（分布密度）ではなく積算ふるい下分布で記載してください。

作成例：





(a) 良い例：

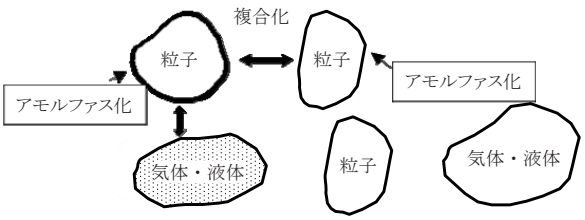
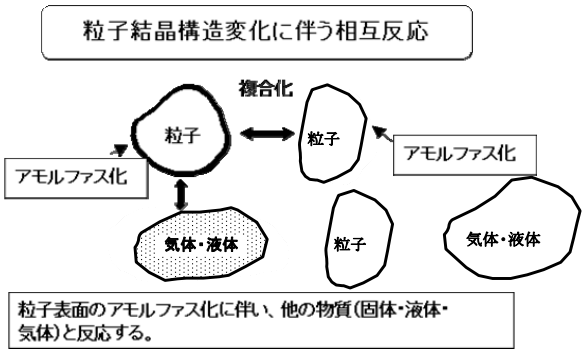


図1　粒子結晶構造変化に伴う相互反応
粒子表面のアルモファス化に伴い、他の物質（固体・液体・気体）と反応する。

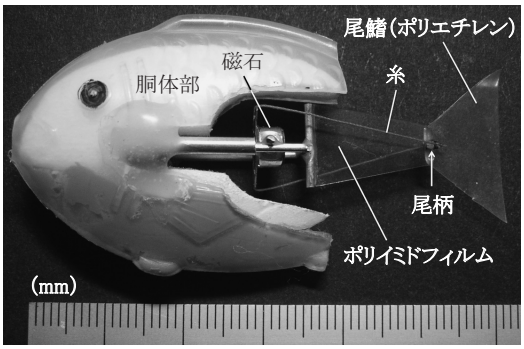
(b) 悪い例：プレゼン用のレイアウトのまま



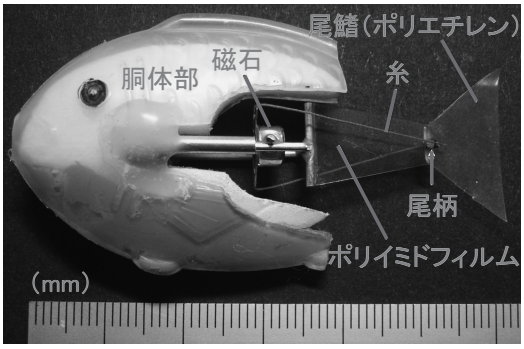
4-2　写真

- 電子データで出稿してください。
- 写真上に文字を打ち込む場合、背景色によっては判別しにくい場合がありますので、可読性を考慮して黒文字・白文字を選択してください。
  下記（b）の事例では文字が判別しにくくなります。
- 原稿に写真がある場合は、Word などに貼り付ける前の画像データも必ず別途送付してください。

(a) 良い例：



(b) 悪い例：



4-3　表

- 画像として貼り付けることを避けてください。
- テキストを書き出せる状態で作成してください。

4-4　QR コード

動画などを紹介する場合には、QR コードを作成いただき、URL とともに記載してください。

表記例：

（http : //appie.or.jp/shirumanabu/pbulishing/funtaigijyutu/）*)

*）引用文献リストにも記載をお願いします。

5. 文献表記

- 原稿執筆において、他誌より写真、図、グラフ、表などを転載する場合は、著者ご自身で必要な許諾を得ていただき、出典を明記してください（他誌の著作物については、著者ご自身が執筆された内容であっても、転載の許諾が必要な場合があります）。
- 必ず引用文献を付けてください。
- 引用文献以外（本文に引用がないもの）は参考文献としてください。

【表記方法】

■ **書籍の場合**　※版数・巻数はゴシック体としてください。

文献番号）筆者：“書籍名”、出版社、**版数**（巻数）、頁数（発行年）

〈例〉 井伊谷鋼一：“集塵工学”、日刊工業新聞社、1(1)、p. 96（1980）

■ **雑誌の場合**　※版数・巻数はゴシック体としてください。

文献番号）筆者：“表題”、雑誌名、**巻数**（号数）、頁数（発行年）

〈例〉 田中達夫：“複数の粉砕機または分級機を含む種々の形式の閉回路粉砕の設計法”、粉体工学会誌、**31**(1)、pp. 333－341（1994）

■ **英文誌の場合**　※版数・巻数はゴシック体としてください。
※雑誌名をイタリック体としてください。
※〈例1～3〉いずれの表記も利用いただけます。

文献番号）筆者：“表題”、*雑誌名*、**巻数**（号数）、頁数（発行年）

〈例1〉 Toshio Oshima, You-Lin Zhang, Mitsuaki Hirota, Michitaka Suzuki, Takeshi Nakagawa：“The effect of the types of mill on the flowability of ground powders”, *Advanced Powder Technology*, **6**(1), pp. 35－45 (1995)

〈例2〉 T. Oshima, Y. Zhang, M. Hirota, M. Suzuki, T. Nakagawa：“The effect of the types of mill on the flowability of ground powders”, *Advanced Powder Technology*, **6**(1), pp. 35－45 (1995)

〈例3〉 T. Oshima et al.：“The effect of the types of mill on the flowability of ground powders”, *Advanced Powder Technology*, **6**(1), pp. 35－45 (1995)

■ **特許の場合**

文献番号）出願人：“発明の名称”、特許出願公開番号（公開年）

〈例〉 粉体太郎：“粉体の処理方法”、日本国特許第36518358号（2003）

■ **Web サイト、Web ページ、動画などの Web コンテンツの場合**

文献番号）著者名：“Web ページの題目”、Web サイトの名称、入手先（参照日付）

〈例〉 ㈠社㈡日本粉体工業技術協会：“月刊誌「粉体技術」”、㈠社㈡日本粉体工業技術協会、http://www.appie.or.jp/publishing/（2014年３月１日）

6. キーワード

- 以下の要領でキーワードを作成してください。
- 日本語で3～5語程度としてください。
- 具体的な意味ある語で、狭義の名詞形を選んでください。
- 元素、化合物などは化学記号でなく、日本語で示してください。
- 省略形はその分野で広く通用しているものにしてください。新たに作った略語は使用しないでください。

7. 原稿出稿

原稿出稿時には、作成元データ（画像データや表計算データなど）を同時に提出してください。

（附則）

この執筆要領の改訂は、編集委員会の承認を得た日から発効する。

（付記）

平成20年12月６日制定
平成21年３月14日一部改定（委員会承認）
平成21年６月13日一部改定（委員会承認）
平成22年12月４日一部改定（委員会承認）
平成23年12月15日一部改定（小委員会承認）
平成27年９月12日一部改定（委員会承認）
平成27年12月11日一部改定（委員会承認）
平成28年３月12日一部改定（委員会承認）
平成30年６月２日一部改定（委員会承認）
平成30年12月８日一部改定（委員会承認）
2020年３月14日一部改定（委員会承認）
2021年５月29日一部改定（委員会承認）
2021年９月11日一部改定（委員会承認）
2022年９月17日一部改定（委員会承認）
2024年１月31日一部改定（委員会承認）